

LED ダウンライトの防湿気密施工

一般住宅に使われているダウンライトですが、断熱気密防湿施工が必要な天井に埋め込みする場合には注意点があります。

寒冷地Ⅰ・Ⅱ地域における細部の防湿処理

(中略)

照明器具等のまわり

最上階天井で断熱する部位に設ける照明器具については、断熱層、防湿層の欠損を防ぐためシーリングライト（直付け）式照明器具を使用するのが望ましい。

やむを得ず埋め込み式の照明器具を使用する場合には、次のいずれかとする。

- ・断熱施工用のダウンライト（S型）を使用する。
なお、S型ダウンライトとは、日本照明器具工業会規格に定めるもので、マット状断熱材に特別の注意を必要としないSG型と、マット状断熱材に加え天井吸込工法による断熱材にも特別の注意を必要としないSB型の2種類がある。
- ・防湿フィルムで構成した空隙を断熱層内側に設け、照明器具はその部分に取り付ける。空隙の大きさについては、過熱防止のために十分な寸法が確保されたものとする。

現状

上記を踏まえて各ハウスメーカーはダウンライトがすっぽりと入る大きさの木製BOXを製作してシートでスッポリと覆ってから天井に取り付ける。BOXを覆った防湿シートと天井の防湿気密シートをテープでしっかりとジョイントしてから、天井材を張る。この時採用するダウンライトは過熱防止の観点からS型が必要です。（SG，SB）

